

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 2 年度病虫害発生予察技術情報第 7 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 7 号（チャバネアオカメムシの越冬量）を発表したので送付します。

技術情報第 7 号

- 1 対象作物：果樹全般（ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ等）
- 2 病虫害名：チャバネアオカメムシ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：前年より少（4月～7月）

5 本年の発生状況

- (1) 越冬量：県下 29 地点の常緑広葉樹林下落葉中における 1 m²当たりの越冬成虫数は 0.3 頭/m²で、前年 (5.0 頭/m²) より少なく、過去 10 年で最も少なかった 2011 年 (0.6 頭/m²) より少なかった (表 1)。
- (2) 採集地点率：越冬成虫の採集地点率は 41.4% で、前年 (97.0%) より低く、過去 10 年で最も低かった 2016 年 (67.6%) より低かった (表 1)。

表 1 チャバネアオカメムシの 1 m²当たり越冬成虫数、採集地点率及び 4～7 月成虫誘殺数

項目/年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2011～ 20年平均	
越冬 虫 数 (頭)	県内平均	0.6	3.2	0.7	4.8	0.9	0.8	0.9	3.8	0.8	5.0	0.3	2.0
	久留米・朝倉	0.6	4.7	1.0	7.8	1.2	1.4	1.3	4.7	1.0	6.8	0.4	2.8
	筑後	0.7	2.3	0.9	2.6	0.8	0.6	0.4	2.1	0.6	3.2	0.03	1.3
	福岡・飯塚・行橋	0.4	2.1	0.1	2.8	0.5	0.2	0.9	4.3	0.8	4.3	0.3	1.5
県内採集地点率 (%)	82.4	94.1	73.5	97.1	76.5	67.6	79.4	97.1	79.4	97.0	41.4	80.5	
4～7月成虫誘 殺数 (頭)	予察灯	339	2,501	112	2,128	86	126	206	1,400	120	2,951	-	997
	フェロモントラップ	1,312	11,957	553	15,279	237	338	493	2,530	38	2,635	-	3,537

6 防除上注意すべき事項

チャバネアオカメムシの 4 月～7 月の予察灯やフェロモントラップでの誘殺数は、越冬量と密接な関係が見られ、本年は前年より少なく、越冬虫数 0.9 頭/m²以下の年と同様に少ないと考えられる。

- (1) 春先の気温が高く、越冬成虫が活動し始める時期が早い場合は、ウメ、モモ、スモモ等に早期に飛来すると予想されるので、果樹園への飛来状況の把握に努める。なお、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (2) 予察灯やフェロモントラップが設置されている地域では、誘殺が増加する時期と量に留意し、誘殺数や果樹園への飛来が多い場合は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守し薬剤防除を行う。
- (3) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

